

121210 サワガニ

溪流沿いの林道の脇を「サワガニ」が歩いていました。

もう既に「冬眠」しているのでは...と思っていたのですが、のそのそと歩いていたのです。

サワガニは日本固有種で、その一生を淡水域で過ごします。

甲羅の幅は30mmほどで、雄は右のハサミが左よりも大きいことが多いようです。

また、水のきれいな溪流や小川に生息することが多いので、水質の良さを示す「指標生物」になっています。

ちなみに、指標生物を用いて簡易に川の水質を判定する場合、

- ・きれいな水： サワガニ、カワゲラ、ほか
- ・少し汚い水： カワニナ、ゲンジボタル、ほか

というように、サワガニは、ホタルよりも水質の良好な川に生息しているのです。

初夏から秋までが繁殖期間に当たりますが、雌は産卵した直径2mmほどの卵を腹脚に抱えて守り、孵化した子ガニもしばらくの間、母ガニの腹部で守られて過ごします。

寿命は数年～10年くらいだと言われています。

写真 _____ : **サワガニ(雄)** 【撮影: 11月末】

左に比べて右のハサミが大きいので、雄だろうと思います。

時期的にみて、冬眠する場所を探しているところなのかも知れませんね。

写真 _____ : **サワガニ(雌)** 【撮影: 9月中旬】 撮影場所は北摂

腹部に子ガニを抱えています。





